

心にかかわる疾病

Q2 心にかかわる疾病には、どのようなものがありますか？

心と体、心と行動は一体です。通常は、自分で自分をコントロールしながら生活しているのですが、何らかの理由でその制御がきかない状態になり、生活に支障を来す場合があります。これが心の疾病です。

最近ちょっと様子がおかしいと思いつつも、原因が分からずに手をこまねいている間に症状が悪くなったり、いじめの被害を受けたり不登校になったりするなど、二次的な問題が発生することがあります。

ここでは、児童生徒の行動の意味や悩みを理解する上で把握しておいた方がいいと思われるいくつかの心の疾病について紹介します。

うつ病性障害

眠れない（逆に寝てばかりいる）、疲れやすい、気力が減退する、自分の責任ではないのに罪悪感を感じる、思考力や集中力が低下する、自殺について考える、著しい体重の減少（逆に著しい増加）などの症状が見られます。

摂食障害

【神経性無食欲症】

自分の体重または体型の感じ方の障害で、体重が増えることに対する強い恐怖を感じ、たとえ体重が不足していても、食事を極端に制限したりします。食後、無理に吐いたり下剤を飲んだりする場合があります。

【神経性大食症】

食べることをやめることができず、通常よりも明らかに多い食物を食べる障害です。体重増加を防ぐため、無理に吐いたり、下剤を飲んだり、過剰な運動をしたりします。

強迫神経症

意味がないと自覚していながら、ある行動（手を洗う、順番に並べる、確認をする等）または心の中の行為（祈る、数を数える、声を出さずに言葉を繰り返す）を繰り返してしまい、生活に支障をきたすようになります。

不安神経症

理由もなく不安でたまらなくなり、心悸亢進^{しんきこうしん}、過呼吸、頻脈、発汗などの不安発作が頻繁に見られます。

抜毛症

頭髮、眉毛、睫毛^{まつげ}などの身体の毛を、自分の手で無自覚のうちに繰り返し引き抜く行為（症状）です。コントロールできない怒りを解消しようとするための行為と言われています。

統合失調症

幻覚・幻聴・妄想などがあり、会話にまとまりがなくなります。

自分の考えを他の人に知られてしまう感じ、テレビが自分のことを言っているような感じ、人から操られているような感じを抱いたり、感情が鈍くなる、一人で話し一人で笑うなどの状態が見られたりする場合があります。

境界性人格障害

見捨てられることを避けようとしてなりふりかまわない努力をします。不安定な対人関係しか持てず、相手を理想化したりこきおろしたりして、両極端を揺れ動きます。自殺未遂や自己を傷つける衝動的な行動（リストカット、浪費など）が見られます。

行為障害

人や動物に対する攻撃性、所有物の破壊（放火や故意の破壊）、嘘や窃盗、重大な規則違反（無断外泊、家出、怠けによる不登校）などのいずれかの行動が続いており、生活や学習に支障をきたすようになります。

各種恐怖症

一般には恐怖の対象にならないものに対して、不合理だと分かっているながら、恐怖を感じる症状です。

対人恐怖、赤面恐怖、醜形恐怖、正視恐怖、自己臭恐怖、閉所恐怖、高所恐怖、尖端恐怖など、様々な恐怖症があります。

これらの症状は心と密接にかかわっています。

親も教師も何とか今の状況をよくしようと一生懸命かかわりますが、素人判断では状態が悪くなる場合があります。専門医の受診が必要です。